参加希望の方は、以下の実施概要を確認のうえ、末尾の返信フォームに回答いただき、

二宮＜ninokazu@chem.sci.osaka-u.ac.jp＞ までご連絡下さい。

参加者希望者多数の場合は、回答いただいた予備知識を参考に参加者の選定を行いますのでご了承ください。また参加希望者が少ない場合（１-2名しかいない場合）は、メール等によりデータ解析実習の個別対応のみとし、測定の実習を行わないこともありますので、併せてご了承ください。

なお、今回日程が合わないだけで、参加したいという方がいらっしゃいましたら、第２回の開催も検討致しますので個別にお知らせください。

参加申し込みの締切は7/31　12：00までといたします。多数のご参加お待ちしております。

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\* 　実施概要 　\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

開催日程：　8/19（水）-20（木）

　　　　　　　一日日　13：00　開始

　　　　　　　二日目　18：00　終了

開催場所： 大阪大学RI総合センター豊中分館

<http://www.rirc.osaka-u.ac.jp/toyonaka/index.html>

　　　　　　　大阪（伊丹）空港より　15分程度

　　　　　　　JR新大阪駅より　40分程度

プログラム：

　　1日目

　　　・　講義　（2時間程度）

　　　　放射線計測の基礎知識

　　　　Ge検出器によるスペクトロスコピ―の原理

　　　・　測定実習　（3時間程度）

　　　　Ge検出器の起動、調整

　　　　標準試料による検出器校正

　　　　環境試料の測定

　　　　（試料の持ち込み可：返信フォームに詳細をお書きください）

　　2日目

　　　・　講義　（1時間程度）

　　　　測定データ解析の講義

　　　・　データ解析実習　（6時間程度）

　　　　スペクトル表示ソフトを用いたデータ解析実習

　　　　ガンマ線エネルギーの導出

　　　　検出効率の導出

　　　　環境試料の放射能の定量

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

============ 返信フォーム (7/31 12:00 締切) =============

氏名：

所属：

新学術所属班：

身分：

連絡先（メールアドレス）：

（学生のみ）指導教官名：

（学生のみ）指導教官連絡先：

Ge検出器に関する知識で最も近いものを選択ください

（　）　Ge検出器を使用したことがない

（　）　詳しくは知らないがGe検出器を使用したことがある

（　）　試料の入れ替えのみ定常的に行っている、調整等はしたことがない

（　）　Ge検出器を使用しており、校正についても知識がある

（　）　Ge検出器を立ち上げから校正まで一人でできる

Ge検出器のスペクトル解析に関する知識で最も近いものを選択ください

（　）　ガンマ線スペクトルを解析したことがない

（　）　スペクトル解析は自動ソフトで行っており詳細は知らない

（　）　ソフトを使用して手動でスペクトル解析できる

（　）　手計算でスペクトル解析をしたことがある

研究でGe検出器でどのような試料を測定しているか記述ください

また可能であれば放射能のレベルもお書きください

　　例：　土壌　10～500 Bq/kg 程度のもの

（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

今回の実習で測定試料の持ち込みを希望される場合は

種類や形状などの詳細についてお書きください。

（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

その他要望

（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

===============================================